

幕別町における保育事業の

今後の方向性について



問 第5期幕別町総合
計画では今後の保育
事業について、児童を取り
巻く現代のさまざまな環境
の変化に対する取り組み、ま
たは、児童の発達支援等の方
面で、どのような取り組みを実
施する予定ですか。

めている。今後の町の保育事業について3歳未満児の保育の拡充が必要だと考
るが伺う。

の変化に対応するため、また、多様化する保育ニーズに対応するためには、保育サービスの拡充が必要とされ、具体的には、延長保育や病後児保育などの新たな保育の拡充に努めるとあるが、現況について伺う。

また、インフルエンザ等によつてニーズが増えた病児保育について考えはない

また 3歳以上児については、幼稚園と同等の教育に力を入れるべきだと保育指針に示されているが、小学校との連携を含めて今後の取り組みについて伺う。

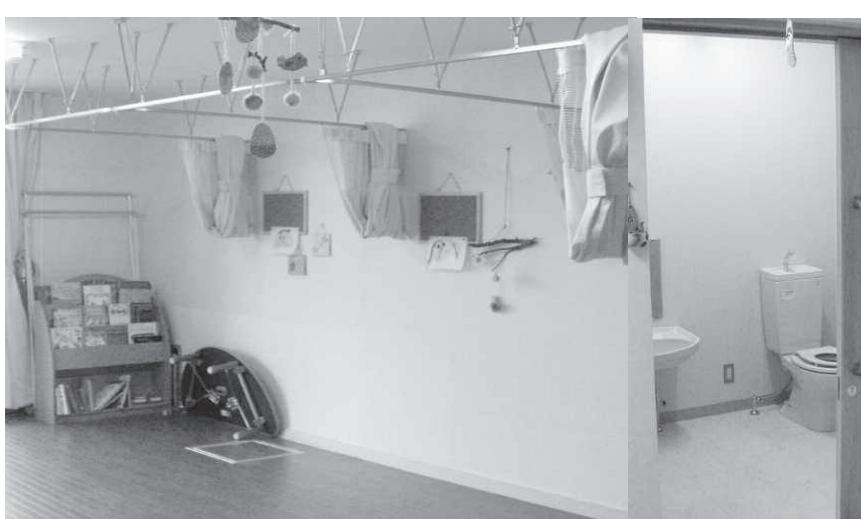
以上のように、子どもの発達過程に応じた具体的な保育事業の推進が今後の町の保育事業にとって大切であると考えるがどうか。

難な場合は、専用の保育室において専任の看護師及び保育士が当該児童の保育を行うものである。

なお、病後児保育の実施内容については、1日の定員を4人以内として、月曜日から土曜日の午前7時30分から午後6時30分までの間、原則として1児童連続して7日以内の範囲で行い利用申込等の詳細について

されるとおり、「3歳未満児については、一人ひとりの子どもの生育歴、心身の発達、活動の実態等に即した保育」を、「3歳以上児については、個の成長と子ども相互の関係や協同的な活動が促されるような保育」を行い、「保育所の保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながること

に留意し、幼児期にふさわしい生活をとおして、創造的な思考や主体的な生活態度の基礎が培われるよう「様々な環境と体験を提供しながら、一人ひとりの健やかな育ちを支えるとともに、保育士も子どもたちから学び、常に自らの保育を振り返り、保育の質の向上に向けた努力をしていきたい。



青葉保育所病後児保育室

○今年度より始まった青葉保育所での病後児保育、
4月の利用児童数は延べ6人。